

第19週の発生動向 (2006/5/8~2006/5/14)

1. 伝染性紅斑については、**警報**が弘前で第13週から、五所川原保健所で第16週から継続して出され、注意が必要です。
2. 流行性耳下腺炎については、上十三、むつ保健所管内で**注意報**が出されました。
3. インフルエンザについては、前週より119人減少していますが、弘前、八戸地域において患者報告数が多く見られることから注意が必要です。迅速診断キットにより、弘前保健所管内ではA型:5件、B型:15件、むつ保健所管内では、A型:3件が報告されています。
4. 感染性胃腸炎については、青森及び弘前保健所管内において報告数が増加しているため注意が必要です。

第19週五類感染症定点把握

疾患番号・疾患名	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ	1	0.07	20	1.33	42	3.00	8	1.14	10	1.11	3	0.50	84	1.29	-119
(60) 咽頭結膜熱			2	0.22	1	0.11					3	0.75	6	0.14	-7
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	0.89	12	1.33	5	0.56	3	0.60	15	2.50	7	1.75	50	1.19	0
(62) 感染性胃腸炎	36	4.00	62	6.89	6	0.67	3	0.60	7	1.17	28	7.00	142	3.38	57
(63) 水痘	17	1.89	20	2.22	14	1.56	5	1.00	9	1.50	12	3.00	77	1.83	38
(64) 手足口病	2	0.22											2	0.05	2
(65) 伝染性紅斑	4	0.44	16	1.78	4	0.44	12	2.40	4	0.67			40	0.95	2
(66) 突発性発しん	6	0.67	6	0.67	5	0.56			8	1.33			25	0.60	6
(67) 百日咳															0
(68) 風しん															0
(69) ヘルパンギーナ	3	0.33											3	0.07	2
(70) 麻疹(成人を除く)															-1
(71) 流行性耳下腺炎	4	0.44	5	0.56	6	0.67	13	2.60	34	5.67	15	3.75	77	1.83	45
(73) 急性出血性結膜炎															0
(74) 流行性角結膜炎	1	0.50	1	0.33	4	2.00	3	3.00	3	1.50			12	1.09	2
(59) RSVウイルス感染症			6	0.67			1	0.20					7	0.64	4
(82) マイコプラズマ肺炎					5	5.00							5	0.83	3

保健所名	定点数			
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科 基幹
青森	14	9	5	2
弘前	15	9	6	3
八戸	14	9	5	2
五所川原	7	5	2	1
上十三	9	6	3	2
むつ	6	4	2	1
合計	65	42	23	11

■は警報 ■は注意報 「空欄」:患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (18年計には、今回届出された人数を含む)

(51) 後天性免疫不全症候群(五類全数把握疾患) 青森保健所管内:1人 (18年計 2人)

感染症の窓

麻しん

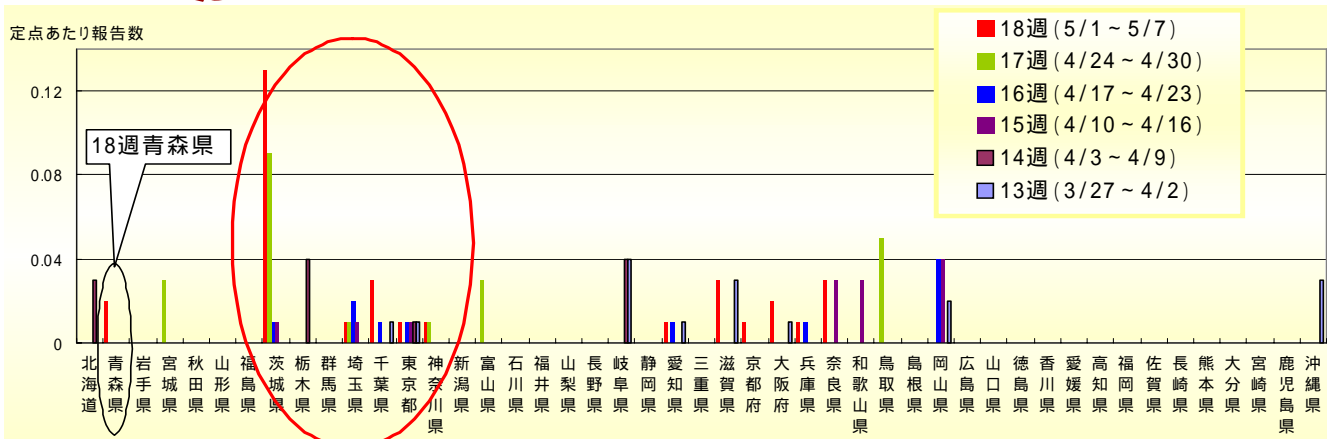


図. 2006年13週(3月)から18週(5月)までの全国における定点あたり麻しん報告数

図(赤丸部分)に示したように、関東地区特に茨城県で多い報告数となっています。国立感染症研究所感染症情報センターは、茨城県の2カ所の学校で麻しんの集団発生が起きていることを発表しました(2006年5月12日)。青森県では、第18週に1人(定点あたり0.02人)の報告ですが、関東から全国に広がる可能性もあり、**抵抗力の弱っている方又は麻しんに対する免疫の無い方が感染すると重症化**することがあるので注意が必要です。予防には、ワクチンがあります。ワクチンについては、医療機関に相談することをお勧めします。